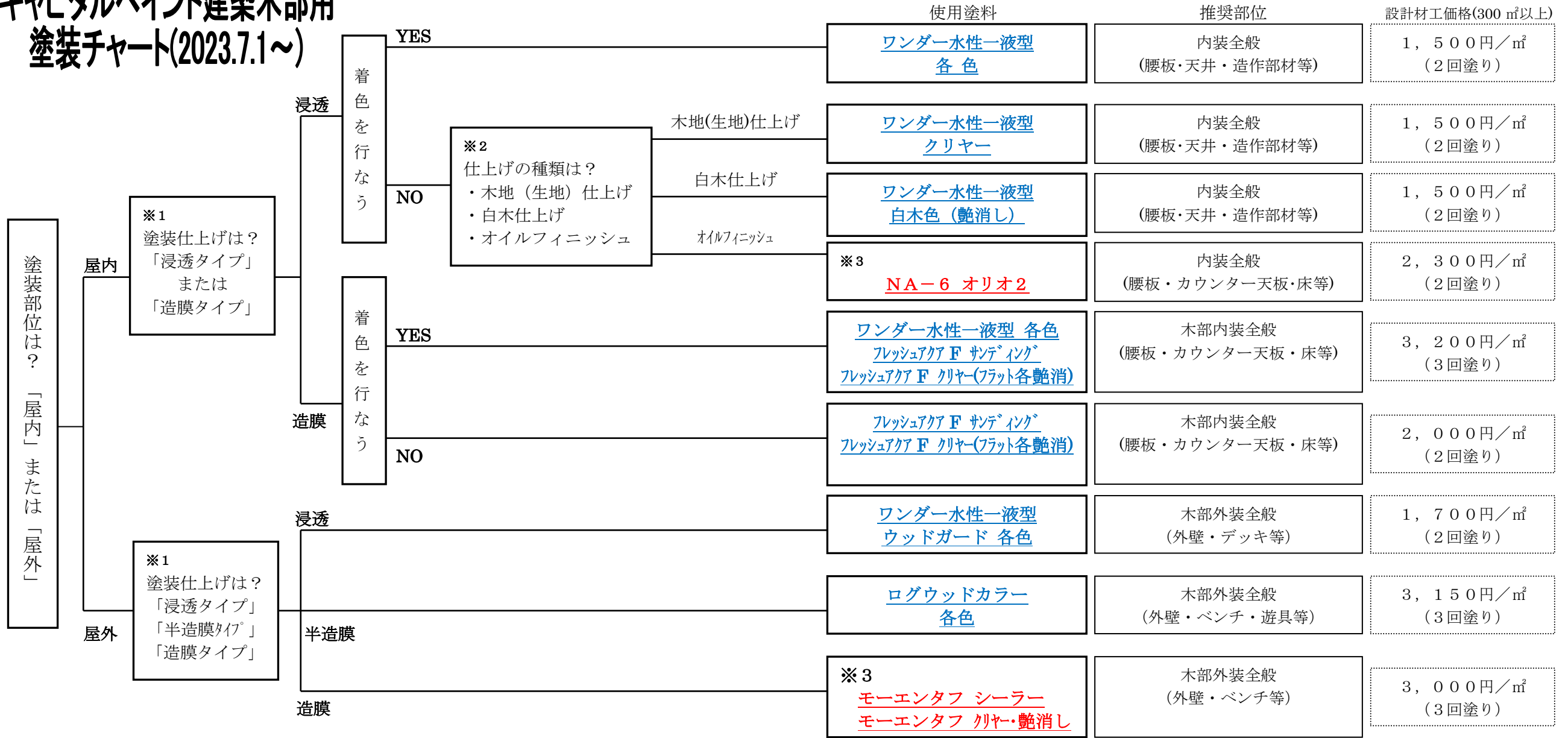


キャピタルペイント建築木部用 塗装チャート(2023.7.1~)



※1 「浸透タイプ」の特徴
木材の表面に膜を作らない為、木肌そのままの仕上がりが表現でき、木材の調湿も防げません。但し、木材の表面上に被膜しない為には表面上の強度や汚れ防止性能等は被膜するタイプに比べて劣ります。

「半造膜タイプ」の特徴
「浸透タイプ」と「造膜タイプ」の中間で、木材にも塗料を浸透させながら表面上にも薄膜をつけます。一般的に、屋外に置いて「浸透タイプ」よりも耐候性が高いとされています

「造膜タイプ」の特徴
木材の表面上に被膜をし、艶有り仕上げや艶消し仕上げなど意匠性に幅を持たせると同時に、被膜する塗膜の性能によって強度・耐熱性能・汚れ防止性能など耐久性を向上させる事が可能になります。

※2 木地(生地)仕上げ・・・着色せずに木地(生地)にそのまま透明塗料を塗装するため、素材色が濡れ色となって仕上がる。
白木仕上げ・・・塗料による濡れ色を出さずに、木地(生地)の白さがそのまま表現、或いは強調される。塗料は無黄変タイプで艶消しが条件。
オイルフィニッシュ・・・オイルフィニッシュ用塗料を木材中に浸透させるため、木質感が鮮明に表現され素地色がオイルの濡れで強調される。

※3 青字表示は「水性塗料」の商品名、赤字表示は「溶剤型塗料」の商品名です。